

# 島根原子力発電所周辺環境放射線等 調査結果の概要

[平成23年10月～平成24年9月 調査結果]

# 島根原子力発電所周辺 環境放射線等調査結果 平成23年 平成24年 10月～9月

島根県では、地域住民の皆様の安全確保及び環境の保全を図るため、環境放射線等の調査を行っています。

調査結果を検討・評価したところ、**発電所等による異常は認められませんでした。**

## ■ 雨や雪が降ると、なぜ空間放射線量が増える？

大気中に漂っている天然放射性物質が雨などと一緒に地上に降ってくるからです。ただし、時間とともに消えていき、しばらくすると元の値に戻ります。

## ■ 放射線量の単位は？

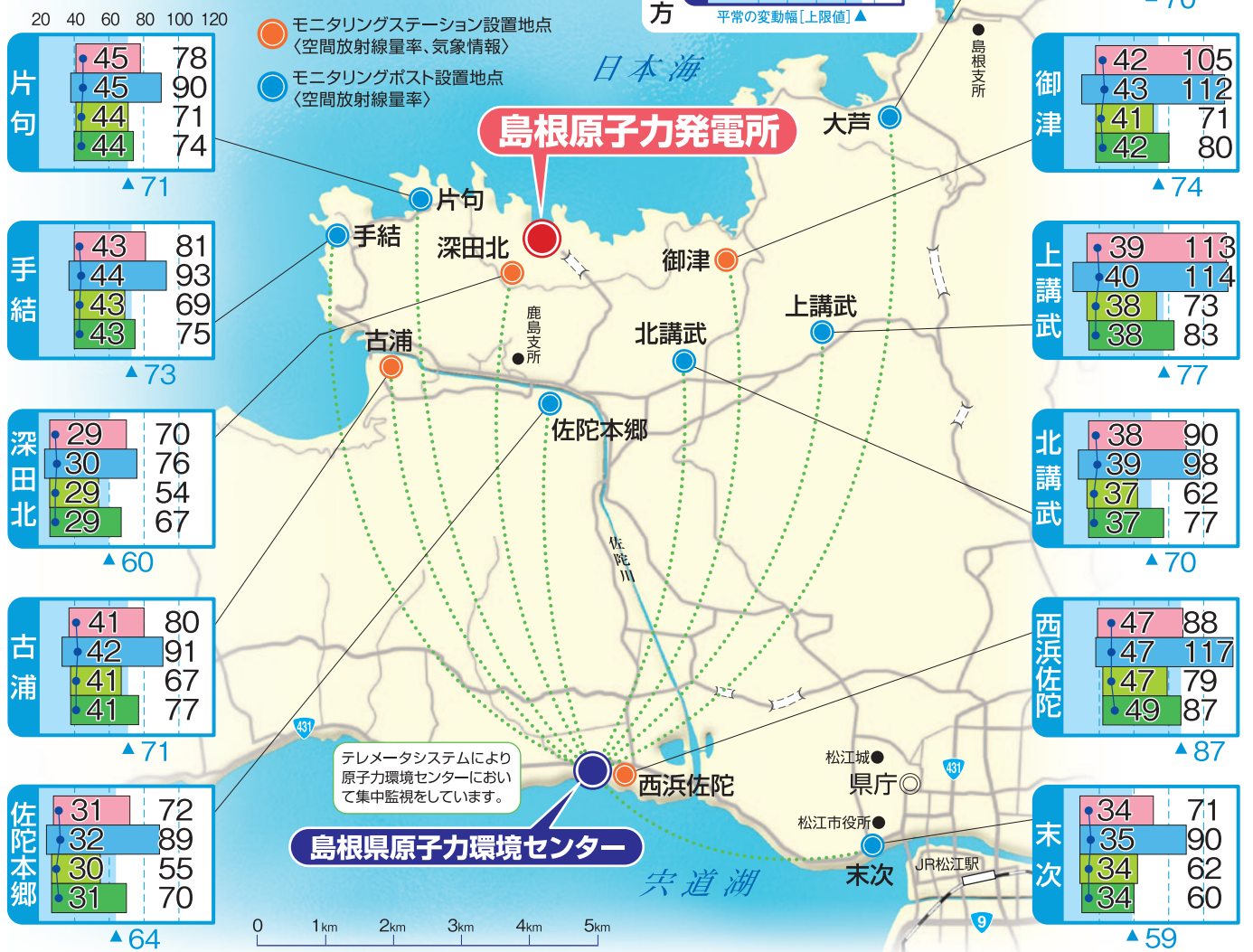
環境中の放射線量を表す場合は「nGy(ナノグレイ)」などを用います。

●1ナノグレイ=1000分の1マイクログレイ=100万分の1ミリグレイ=10億分の1グレイ

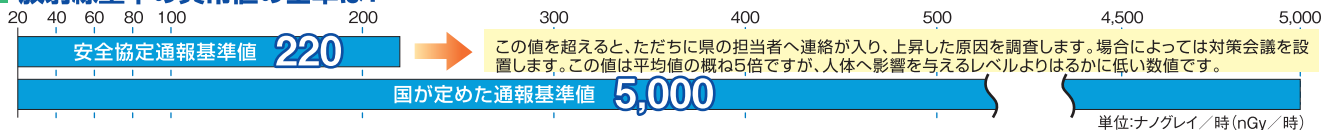
## ● 空間放射線線量率 - 測定地点での空間放射線の量 -

「平常の変動幅」を超える線量率が測定されましたが、いずれも降水等による線量率の増加によるもので、**島根原子力発電所等による環境への影響は認められませんでした。**

○平常の変動幅:平成19年4月～同24年3月までの全データ\*を統計処理した範囲



## ■ 放射線量率の異常値の基準は？



## ● 空間放射線積算線量 - 発電所周辺16地点で3ヵ月にわたって測定された放射線の合計量 -

すべての地点について、平常の変動幅におさまる線量でした。いずれも、**島根原子力発電所等による環境への影響は認められませんでした。**

# 環境試料中の放射能

— 農畜産物、海産生物、土壌、水、塵などに含まれる放射能の種類と量を測定しています —

## H23.10月～H24.9月

一部の環境試料から、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故の影響によるもの、または過去の大気圏内核実験等によるものと思われる微量の放射性物質を検出しましたが、**島根原子力発電所による環境への影響は認められませんでした。**

試料名	測定 試料数	対象γ線放射性核種 ( <sup>54</sup> Mn・ <sup>59</sup> Fe・ <sup>58</sup> Co・ <sup>60</sup> Co・ <sup>137</sup> Cs・ <sup>131</sup> I) セシウム137以外は検出されていません。 ※1			その他のγ線放射性核種 ( <sup>134</sup> Cs) ※2	それ以外の放射性核種 ( <sup>3</sup> H・ <sup>90</sup> Sr) ※3				単位
		セシウム-137 <sup>137</sup> Cs	H23.10～H24.9 の測定結果	ヨウ素-131 <sup>131</sup> I ※4	セシウム-134 <sup>134</sup> Cs	トリチウム <sup>3</sup> H	H23.10～H24.9 の測定結果	ストロンチウム <sup>90</sup> Sr	H23.10～H24.9 の測定結果	
浮遊塵	36	ND～2.5	ND～270		ND					μBq/m <sup>3</sup>
海水	16	0.91～2.1	1.1～2.0		ND	ND	ND	2.4		
陸水	池水	3	ND	ND	ND	0.41～0.45	ND～0.44			mBq/l
	水道原水	8	ND	ND	ND	ND～0.50	ND～0.42			
牛乳	原乳	6		ND						
植物	松葉	3	0.15～0.49	ND～0.96	ND	0.09～0.42		8.9	11	Bq/kg (生)
農産物	大根	3	ND	ND	ND	ND				
	キャベツ	2	ND	ND	ND	ND				
	ほうれん草	3	ND	ND	ND	ND		0.07	0.08	
	精米	2	0.01	ND	ND	ND				
	茶	2	0.11	0.24～0.26	ND	0.05～0.06		0.36	0.19	
海産生物	なまこ	2	ND	ND	ND	ND				
	かさご	1	0.07	0.07	ND	ND				
	さざえ	肉	8	ND	ND～0.04	ND	ND		ND	ND
		内臓	8	ND	ND	ND	ND			
	むらさきがい	7	ND	ND～0.03	ND	ND				
	岩のり	1	ND	ND	ND	ND				
	あらめ	6	ND～0.08	ND～0.09	ND	ND		ND	ND	
	ほんだわら類	9	ND～0.07	ND～0.05	ND	ND				
	わかめ	2	ND	ND～0.14	ND	ND		ND	ND	
陸土	5	0.89～8.8	1.4～7.0		ND			2.7	2.5	Bq/kg (風乾物)
海底土	3	ND	ND		ND					

※1:マンガン-54(<sup>54</sup>Mn)、鉄-59(<sup>59</sup>Fe)、コバルト-58(<sup>58</sup>Co)、コバルト-60(<sup>60</sup>Co)、セシウム-137(<sup>137</sup>Cs)、ヨウ素-131(<sup>131</sup>I)を、通常対象核種として測定をしています。

※2:対象核種以外で検出された、セシウム-134(<sup>134</sup>Cs)は、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故の影響によるものと考えられる放射性核種です。

※3:トリチウム、ストロンチウムについては、全ての測定試料ではなく一部の試料について測定しています。

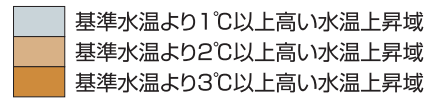
※4:原乳については、ヨウ素-131(<sup>131</sup>I)のみ測定対象。また、植物と農産物・海産生物の一部試料のみヨウ素-131を測定しています。

# 温排水調査結果

(平成23年10月～平成24年9月分)

調査結果を検討・評価したところ、**異常は認められませんでした。**

調査は、①沖合定線、②格子状定線、③沿岸定点、④水色の4項目で行っていますが、ここでは格子状定線の調査結果の概要をお知らせします。



※基準水温:温排水の影響がないと考えられる測定ポイント5地点の平均水温

平成23年度第3-四半期-1回目 平成23年10月5日 9時30分～11時10分



平成23年度第3-四半期-2回目 平成23年10月5日 11時50分～13時37分



平成23年度第4-四半期-1回目 平成24年1月18日 9時30分～11時30分



平成23年度第4-四半期-2回目 平成24年1月18日 13時30分～14時52分



平成24年度第1-四半期-1回目 平成24年4月25日 9時30分～11時04分



平成24年度第1-四半期-2回目 平成24年4月25日 11時45分～13時21分



平成24年度第2-四半期-1回目 平成24年7月11日 9時30分～11時07分



平成24年度第2-四半期-2回目 平成24年7月11日 11時40分～13時23分

